

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日



イマジン
ロータリー

銚子ロータリークラブ会報

第3203号 2023年3月1日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室 (銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第66代会長 高瀬幸雄 ◇副会長 佐藤直子 ◇幹事 淵岡彰介

本日のプログラム

「ロータリーの楽しさ」

千葉科学大学ローターアクトクラブ

木原 正稀様

※例会終了後クラブ協議会開催

前回例会報告 (2月22日)

点 鐘：高瀬幸雄会長

ロータリーソング：四つのテスト

ビジター紹介：

地区ロータリー財団学友会 工藤 幸介様

千葉科学大学ローターアクトクラブ

高野翔様 山本成海様 軽部愛美様

会長挨拶



本日のお客様は工藤幸介様、千葉科学大学ローターアクトクラブ高野翔様、山本成海様と軽部愛美様にお越しいただいております。よろしくお願ひ申し上げます。

ご存じの通り工藤様はロータリーのグローバル補助金奨学生として2019年7月から2021年4月までスイスジュネーブ国際開発高等研究所へ留学して平和や紛争予防などについて勉強してまいりました。本日の卓話楽しみにしています。

今月は平和構築と紛争予防月間に加え、明日はロータリー史上最も重要な日になっています。1905年2月23日はポール・ハリスがロータリークラブを作った日であると同時に、ロータリーの創立記念日です。そして「世界理解と平和の日」としても順守されています。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならないとあります。

1905年2月23日、ロータリー最初の会合がシカゴのディアボーン・ストリートにあるユニティ・ビル711号室で開かれたと記録されています。

その会合に参加したのは会員の皆様のご存じの、弁護士のポール・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、仕立業のハイラム・E・ショーレー、鋳山技師のガスターバスH・ローアの四名です。

この最初に会合が持たれた部屋は国際ロータリーの75周年にあたる1980年に元の状態に復元されています。ここは鋳山技師のガスターバスH・ローアの部屋であり、2回目の会合はポール・ハリス事務所、3回目はシルベスター・シールの貯炭所の事務所で行われたようです。

現在、ロータリークラブ例会の在り方も運営方法もコロナ禍の影響もあり多様化されてきていますが、コロナ感染が長く続いたことで気づかされたことは、例会の楽しさは、会員同士が対面で行うことであることと捉えています。

企業ではテレワーク(在宅勤務)が推奨され、政府が主導する働き方改革にも合致したことで一気にそのシステムは進みましたが、ここに来て政府がウイズコロナへと政策を転換したこと、今年の5月8日からは感染分類を2類から5類へ移行する話になったことにより、企業ではテレワークは本当に生産性の向上につながったのかどうかの検証も行っているようです。しかしほとん

2022-23年度ジェニファーE. ジョーンズRI会長テーマ
IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

2790地区 小倉純夫ガバナー(松戸RC)スローガン
ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、
千葉から世界を変えていこう!

製作◇広報・会報委員会 山本肇 五十嵐亘 大岩将道 須永清彦◇

どの企業は生産性の向上は認められなかったとして、コロナ前の勤務体系に戻す動きが加速しているようです。

人と人との繋がりを大事にするのがロータリークラブです。ロータリークラブも会員同士が対面での親睦を図り、そして情報交換し、諸活動を実践することによる楽しさを取り戻しつつあることに感謝し会長挨拶と致します。

幹事報告

1. 第3回クラブ・地区支援室メッセージ
…RI日本事務局
2. 風の便り Vo. 8No. 4~No. 6(通刊98号~100号)
3. 茂原中央RC創立30周年記念式典並びに祝賀会のご案内
4. 米山記念奨学会 2023.1月寄付金実績のお知らせ
…ガバナー事務所

会員の記念日

お誕生日おめでとうございます!



伊藤 浩一会員(2月16日)

入会記念日 淵岡 彰介会員(2月21日)

創業記念日 小田島國博会員(2月21日)

ニコニコBOX

◇高瀬 幸雄会長

工藤様 本日の卓話宜しく申し上げます。

◇伊藤 浩一会員

79回目の誕生日を迎えられました。これからも頑張ります。

卓話

「紛争」と「平和」に思うこと

地区ロータリー財団学友会 工藤 幸介様
(19-20年度グローバル補助金奨学生)

「紛争」「平和」。みなさんは、この言葉を聞いて、何を思うでしょうか。

例えば今、「紛争」と聞いて真っ先に思い浮かべるのは、ウクライナのことかもしれません。昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻は、連日日本でも報道され、早くも1年が経過しています。

しかしながら、世界で起こっている紛争は、ウク



ライナだけではありません。現在世界で起こっている紛争は約27あると言われています。例えば私が住んでいたエチオピアでは、2020年に内戦が勃発しました。現在、地震の被災で苦しんでいるトルコやシリアでも内戦が続いています。みなさんは「紛争」「平和」に何を思うのでしょうか。みなさんが「紛争」や「平和」という言葉に対してイメージするもの。それがなぜなのか。私は関心があります。

私は大学で政治学を専攻し、協力隊としてエチオピアで生活、大学院では国際情勢学、主なテーマとして民間の安全保障を勉強してきました。そんな私は、「紛争」「平和」という言葉を聞いて何を思うのでしょうか。

もちろん、私は「紛争」や「平和」という言葉には強い思い入れがあり、今後のライフワークにしていきたいです。

というと、そうではありません。語弊があるかもしれませんが、私はこの「紛争」や「平和」という言葉について、特に何かを思うということはありません。なぜなら、私にとって、「紛争」や「平和」とはただの言葉であり、その意味するところは、誰がいつ、何について、どのように使ったかという文脈によって変わるからです。

例えば、Aさんの言う「紛争」はBさんの「紛争」とは異なるかもしれません。また、Aさんの思い描く「平和」とはBさんの思い描く「平和」とも異なるかもしれません。

そもそも私が「紛争」や「平和」という言葉について、感情を込め過ぎずに、比較的中立な立場を取ることができるのはなぜでしょうか。それは、私自身がその幼少期を、1990-2000年代の日本という国、銚子市と言う場所で送ったことが一番の要因だと思います。私は幸運にも、自身のトラウマとなるような「紛争」という残酷な恐怖を体験することなく、日常生活において紛争や平和が何かを考えなくてもいいくらい、「平和」を当たり前のものでして享受して生きてくることができたからだと考えます。

もちろん、学校の授業などで戦争や平和というものについて学ぶ機会はありましたが、それはいつもどこか別の世界で起きた、または起きていることであり、自分自身にとっては「今日の放課後、友達と何をして遊ぼうか」といったようなことの方がより身近で関心の高いことでした。さらに、もう一步踏み込んで申しますと、私は、テレビで取りあげられる「紛争」のニュースや学校で習う「平和」の多くに対して、いつもどこか胡散臭さを感じていた。ということが本音かもしれません。来る日も来る日も取り上げられていたある紛争のニュースは、いつか気がつく、ほとんど目にしなくなりました。その後はどうなったのか？テレビではなかなかやりません。ある日、政治家が「平和」について話していました。「平和は素晴らしい。」「平和のためにこれをやるんだ。」何だか大切なことが抜け落ちているようで、いまいち腑に落ちません。

テレビや新聞と同じように、学校でも、「紛争」はよくないこと、悲しいこと、「平和」は尊いものであるということをお教わります。では、なぜ良いことではないはずの「紛争」が起こるのか？尊いはずの「平和」が壊されるのか？そういった事柄については、あまり触れられなかったように思います。

そこには、ただただ「紛争」はよくない。「平和」はよい。というような、決まりきった答えがあるだけ。「うーん。何だかなあ。」今思い返すと、どことなく感じていたこの気持ち悪さ、違和感から、政治に関心を持ち、大学でも政治学を専攻することに繋がっていったようにも思います。

みなさんは「紛争」「平和」に何を思うのでしょうか。

私がいわゆる途上国で生活してみたいと思い、協力隊に応募してエチオピアに赴任したのも、「紛争」や「平和」という言葉の使われ方に違和感を覚えていのと似たような感覚があったからです。

「紛争」や「平和」と聞いて「アフリカ」を連想される方も多いかもかもしれません。「貧困」という言葉も同じように連想される言葉かもしれません。中には「紛争」と「貧困」がイメージとして結びつき、「アフリカ」「紛争」「貧困」のような連想ゲームがされているかもしれません。

私自身、知らず知らずのうちに「アフリカ」という言葉に「紛争」や「貧困」が連想され、可哀想などといったネガティブなイメージを持っていることに疑問を感じていました。

実際のところ、現地の人々は本当に可哀想なのか？これは、自分で現地に行ってみて、感じてみ

ないとわからないな。そう思い、JICAの青年海外協力隊に応募したところ、エチオピア行きが決定したのです。エチオピアでの生活を通して現地の方々とやりとりをして感じたこと、思うことについては、また別の機会でのお話に譲りたいと思いますが、総じて、アフリカだから、エチオピアだから、貧困国だからといって、そこに暮らしている人々が一概に可哀想かということ、そうでもない。ということを実感できたことは、エチオピアに行ってみて良かったことの一つです。

さて、そのエチオピア滞在中にも「紛争」と「平和」を考える貴重な機会がありました。

みなさんはエチオピアでは最近まで内戦が起きていたことはご存知でしょうか？ティグレ紛争です。2020年に勃発し、昨年2022年に停戦していますが、まだまだ要注視の状態です。

私がエチオピアにいたのは2017-2019年です。まさに紛争勃発直前まで私はエチオピアにいたこととなります。2020年に勃発したティグレ紛争は、まさに私がエチオピアに滞在していた2018年頃に、そのきっかけとなる出来事があったと言われています。その出来事とは、「平和」でした。

元々、エチオピアに民主主義をもたらしたのは、北部の少数民族、人口の6%程度と言われるティグレでした。彼らは1995年、前社会主義政権を倒してエチオピアを民主化し、以来20年以上に渡りエチオピアの政権を担ってきました。一方で、オロモやアムハラといった人口の多数を占める民族の不満は募り続けていました。そしてついに2018年、人口の60%を占めるオロモ族から初めて、アビー・アフメドという新首相が誕生したのです。

アビー首相は「平和のために」、「エチオピアは一つ」といったような、わかりやすく大衆受けする言葉を掲げ、特に若者の間に支持者を広げてきました。当時、現地では「初の大多数民族からの首相の誕生。これこそ真の民主主義である。」ということでお祭り騒ぎでした。



私は、この「平和」に酔ったお祭り状態は非常に危険であると感じていました。なぜなら、多民族国家のエチオピアにおいて、どこかの民族の勝利は、同時にどこかの民族の敗北を意味するかもしれないからです。特に2018年のエチオピアでの出来事においては、それまで20年以上実権を握り、国内でも最も屈強な軍隊を持ったティグレの人々が主演の座から降りることになったのです。そんなに簡単にティグレの人々は納得するのでしょうか。仮にトップのリーダーが合意したとしても、はたしてその下で働いている人々や軍人たちは納得するものなのでしょうか。2018年のエチオピアの「平和」は、まさに立場によって捉え方が異なる「平和」でした。

案の定、アビー政権はその後、その権力を確たるものとするため、ティグレに対して徐々に弾圧を強めていきました。その結果が、2020年に勃発したティグレ紛争です。

私が2018年のエチオピアで体験した「平和」のお祭り騒ぎは、2年後の「紛争」へと繋がっていたのでした。あの「平和」とこの「紛争」の境目は一体どこにあったのでしょうか。

みなさんは、「紛争」「平和」に何を思うでしょうか。

最後になりますが、私がスイスの大学院で学んでいる際に、あるアメリカ人の友人と食事をする機会がありました。彼は元軍人でした。私と出会った時には既に引退していましたが、彼は軍隊を退役した後も民間のセキュリティ会社で働いていたとのことでした。端的に言うと傭兵のようなもので、民間の企業に雇われて兵士として現地に派遣されていたのです。

私は、物事は経済的要因で動いていると考えるクセがあります。なので、この世の中には「紛争」を儲かるビジネスと捉えている人も少なからずいるだろうという認識はしています。事実として、最近ではワグネルというロシアの悪名高い民間軍事会社の名前をよく耳にすることも多いと思いますが、同様の企業は世界中に存在します。私は友人に聞きました。なぜ退役後も傭兵として戦地に赴くのか？それは危険であるけれどもやはりそれ相応に待遇がいいからなのか？つまり、金がいいから戦地に行くのか？と。しかし、友人の答えは、私が想像していたものではありませんでした。彼は誠実に、こう答えてくれました。

「私は生まれながらにしての戦士なんだ。戦うこと、そのものが好きなんだ。これ以上の天職はないと思っている。給料や待遇はどうでもいい。ただ戦いたいんだ。いいか、幸介。この世界には、

私のように、生まれながらにして戦士であるという人間が一定数以上いるんだ。このことを忘れるな。」

この世界には、戦うことそのものを天職とする人もいる。

「紛争」「平和」

私の「紛争」はあなたの「平和」。

あなたの「紛争」は私の「平和」。

そんな現実には、私たちは生きていくのかもしれませんが。「紛争」と「平和」に今日、みなさんは何を思うのでしょうか。

委員会報告

須永清彦青少年奉仕委員長

R Y L Aセミナーの参加報告

【出席報告】

会員総数 36名 出席計算 34名

出席 22名 欠席 12名

出席率 64.71%

欠席者：東君・東川君・石毛君・熊澤君

村田君・佐藤君・島田君・信太君

常世田君・吉原君・鈴木君

高橋宏明君

【M U】

2/21.28 銚子東RC 島田君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 6,000	計	¥520,000
スモールコイン	¥ 1,905	計	¥ 33,208
米山BOX	¥ —	計	¥ 30,996
希望の風	¥ —	計	¥180,700

次週（3月8日）プログラム

「洋服の話」島田 洋二郎会員

お弁当：山水（にぎり）



例会終了後、千葉科学大学ローターアクトメンバーからの質問を受ける工藤さん